

大学教育プログラム

在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	コーディネート科目	学年	授業方法	区分	開講主担当	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
●在宅チーム医療 早期体験学習	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	前期開講 参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 39名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		統合 「多職種連携 早期体験学習」
								40名	30名	
●地域包括ケア 早期体験学習	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 29名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		17名
								30名	31名	
●在宅がん医療・ 緩和ケア実習	○	高学年	実習	合同実習 (実践力)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	3月6～8日に 小規模トライアル 参加者 18名	3月12～14日に 大規模トライアル 21名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		17名
								25名	15名	
●在宅ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学	後期開講 参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 30名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		統合 「在宅ケア概論」
								20名	66名	
●在宅がん治療概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 18名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		38名
								34名	16名	
●在宅緩和ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 65名	授業内容を見直し、充実化を図る。		
								26名	25名	
●在宅医療概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学	後期開講 参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 100名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		統合 「在宅医療概論」
								77名	128名	
地域包括ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 24名	授業内容を見直し、充実化 を図る。		159名
								不開講		
●薬物治療実践学	-	高学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎大学	前期開講	必修科目 「NICEキャンパス 長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
●在宅看護論	-	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学	後期開講	必修科目 「NICEキャンパス 長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
●在宅がん治療特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ ランス)	合同授業 (応用力)	長崎大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 19名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		統合 「在宅がん医療・ 緩和ケア特論」
								10名	不開講	
在宅緩和ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ ランス)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 14名	授業内容を見直し、充実化 を図る。		6名
								8名		
地域包括ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ ランス)	合同授業 (応用力)	長崎国際大学	参加者	「NICEキャンパス 長崎」 科目登録 9名	授業内容を見直し、 充実化を図る。		13名
								8名		

*平成24年度～27年度開講科目の詳細は各年度の報告書を参照

実習 講義 演習

平成28年度大学間単位互換制度開講科目

「NICEキャンパス長崎」について



「NICEキャンパス長崎」は、平成13年度からスタートした単位互換制度で、長崎県内全ての大学、短期大学及び高等専門学校が参加している。「NICE」の名称は、Nagasaki Intercollegiate (大学間) Credit (単位) Exchange (互換) の頭文字である。

単位互換制度は、各大学等が提供している授業科目（コーディネート科目、教養科目、専門科目）の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定される制度である。

※コーディネート科目

単位互換用に新たに開設する科目で、開講大学が設定した長崎らしいものや時事的なものをテーマに、他の大学の教員や、実業界で活躍されている方の協力を得て、オムニバス形式で講義を行う。

「在宅看護論」 必修科目

概要

疾病や障害があっても、「当たり前の暮らし」を送ることを保障する在宅看護の役割と機能を理解する。在宅療養における生活支援と生活の中における医療の継続に視点を置き、医療・保健・福祉の連携と協働を理解する。

科目

開講期間：平成28年10月11日（火）～平成29年1月24日（火）

開講場所：長崎県立大学シーボルト校

単 位：2単位（専門必修科目）

対 象：長崎県立大学看護栄養学部看護学科2年次の学生

「薬物治療実践学」 必修科目

概要

超高齢社会における在宅療養を支援することは重要である。そのため、在宅療養支援に携わるそれぞれの専門職の職能を理解して行動できる次世代の医療職（薬剤師）を育成する。

科目

開講期間：平成28年4月11日（月）～平成28年4月18日（月）

開講場所：長崎大学

単 位：1単位（必修科目）

対 象：長崎大学薬学部薬学科6年次の学生

「在宅ケア概論」 コーディネート科目

概要

平成28年度より在宅がん治療概論と統合。在宅療養支援に携わるそれぞれの職種の職能について、また各職能がどのように連携して在宅チーム医療を行っているかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

科目

開講期間：平成28年10月4日（火）～平成28年11月29日（火）
 開講時間：18：00～19：30（90分）（第6回のみ18：30～20：00）
 開講場所：長崎大学薬学部第2講義室
 単 位：2単位（教養科目）
 対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人



カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	10月4日	オリエンテーション・在宅療養支援概論	中嶋 幹郎（長崎大学薬学部）
2	10月6日	在宅療養支援における介護支援専門員の役割	大町 いづみ（長崎大学医学部保健学科）
3	10月11日	在宅療養支援における緩和ケア	北條 美能留（長崎大学病院緩和ケアセンター）
4	10月13日	在宅療養支援における地域医療連携（概論）	川崎 浩二（長崎大学病院地域医療連携センター）
5	10月18日	在宅療養支援における地域医療連携の実際（看護師ならびに医療ソーシャルワーカーの立場から）	松尾 文乃（長崎大学病院地域医療連携センター） 向田 圭介（長崎大学病院地域医療連携センター）
6	10月20日	在宅療養支援における長崎在宅Dr.ネットの役割	藤井 卓（認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット/藤井外科医院）
7	10月25日	在宅療養支援における薬剤師の役割	手嶋 無限（長崎大学薬学部）
8	10月27日	在宅療養支援における看護職の役割	中尾 八重子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
9	11月1日	在宅療養支援における訪問リハビリの役割	本田 憲一（長崎リハビリテーション病院）
10	11月8日	在宅療養支援における管理栄養士の役割	武藤 慶子（長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科）
11	11月10日	在宅療養支援における歯科医師の役割	角町 正勝（角町歯科医院）
12	11月15日	在宅療養支援における歯科衛生士の役割	猪野 恵美（長崎県歯科衛生士会）
13	11月17日	在宅療養支援における認知症	河口 朝子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
14	11月22日	在宅療養支援における介護専門職の役割	堀部 和貴（長崎県介護福祉士会）
15	11月29日	在宅療養支援における地域包括支援センターの役割	福田 一子（長崎市西浦上・三川地域包括支援センター）

参加者

履修生	長崎大学	薬学部	薬学科	14名
		経済学部	総合経済学科	1名
聴講生/一般社会人				23名
合 計				38名

〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・これから高齢者社会がますます進み、在宅ケアも増えていくと思うので、これからのニーズに合わせて勉強していきたいと思います。在宅ケアについて学ぶ機会は少ないのでよい機会になりました。（薬学科・1年）
- ・これから、ますます在宅医療も高度化していく中で、薬剤師として何ができるかが問われてくるのではないかと思います。この授業を通して普段学べないことを経験できるのではと思いました。（薬学科・4年）



「在宅緩和ケア概論」 コーディネート科目

概要

在宅緩和ケアの基礎知識、在宅緩和ケアに携わるそれぞれの職能、また各職種がどのようにして連携し在宅緩和ケアに取り組んでいるかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

科目

開講期間：平成28年10月5日（水）～平成29年2月1日（水）

開講時間：18：00～19：30（90分）

開講場所：長崎県立大学シーボルト校東棟E110、ホーム・ホスピス中尾クリニック

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人



カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	10月5日	オリエンテーション・在宅緩和ケアの現状と課題	吉原 律子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
2	10月12日	ホスピス・緩和ケア	益富 美津代（聖フランシスコ病院ホスピス病棟）
3	10月19日	在宅緩和ケアとがん診療	山之内 孝彰（長崎大学医学部医学科）
4	10月26日	在宅医療における医師の役割	中尾 勘一郎（認定NPO法人長崎在宅Dr.ネット） （ホーム・ホスピス中尾クリニック）
5	11月2日	在宅医療における薬剤師の役割	手嶋 無限（長崎大学薬学部）
6	11月9日	在宅医療における管理栄養士の役割	古川 美和（長崎市医師会医療センター診療所）
7	11月18日	在宅医療と行政の役割	向原 茂明（長崎県壱岐病院）
8	11月30日	在宅医療における看護師の役割	吉原 律子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
9	12月7日	在宅医療における歯科医師の役割	介田 圭（長崎大学歯学部）
10	12月14日	在宅医療とリハビリテーション	松坂 誠應（長崎リハビリテーション病院）
11	12月21日	在宅ケアのマネジメント	志岐 美津子（恵珠苑 居宅介護支援事業所）
12	1月11日	在宅医療における情報通信技術の活用	前村 葉子（長崎県立大学情報システム学部）
13	1月18日	在宅医療と地域医療連携	川崎 浩二（長崎大学病院地域医療連携センター）
14	1月25日	在宅医療における地域医療連携の実際 （看護師と医療ソーシャルワーカーの立場から）	松尾 文乃（長崎大学病院地域医療連携センター） 向田 圭介（長崎大学病院地域医療連携センター）
15	2月1日	在宅ケアと死生観	内村 公義（NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ） 六郷 美和 小川 富美子（元 長崎市立市民病院 地域医療連携室師長）

参 加 者

履修生	長崎県立大学	看護栄養学部	看護学科	20名
	聴講生/一般社会人			4名
	合 計			24名

〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・ 講義の中の「普通でいいのに、、、」という患者さんの言葉は、緩和ケアで何が求められているかを、とても考えさせられた。患者さんの気持ちに寄り添うこと、その人の普通、その人らしさが何かを考え、ケアをすることが大切であると学んだ。（看護学科）
- ・ 患者さんが大切にしていることを大切に、患者さんが大切にされていると感じられるように接することを心がけていきたい。（看護学科）
- ・ スピリチュアルペインに答えはなく、返答に困ったとしてもその思いを受け取り、何らかの行動でその人を元気づけることができるということがわかった。（看護学科）

「在宅医療概論」 コーディネート科目

概要

在宅医療に携わる各職種また各職能が連携し、患者に対してどのようなアプローチを行うかについて学習する。講義はオムニバス形式で行う。

科目

開講期間：平成28年5月7日（土）～平成28年6月18日（土）

開講時間：9：00～10：30、10：40～12：10、13：00～14：30（各90分）

開講場所：長崎国際大学4101教室、7201教室

単 位：2単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生、一般社会人



カリキュラム・講師

回	月日	内 容	講 師
1	5月7日	在宅医療にかかわる多くの専門職と専門職連携の重要性	岩下 淳二（長崎国際大学薬学部）
2	5月7日	在宅医療における行政のサポート	藤田 利枝（長崎県県央保健所）
3	5月7日	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修（あんず薬局）
4	5月14日	在宅医療における歯科医師の役割	豊屋 文人（佐世保市歯科医師会）
5	5月14日	在宅医療における地域医療連携室の役割	永田 敬博（佐世保共済病院）
6	5月21日	在宅医療における医師の役割	太田 一寿（長崎国際大学薬学部）
7	5月21日	在宅医療における緩和ケアの知識	山田 勝士（長崎国際大学薬学部）
8	6月4日	在宅医療における看護師の役割	越智 幸代（佐世保市医師会訪問看護ステーション）
9	6月4日	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝（ななしま薬局）
10	6月4日	在宅医療における健康サポート	熊谷 賢哉（長崎国際大学人間社会学部）
11	6月11日	在宅医療における調剤と薬の知識	仮屋 蘭 博子（長崎国際大学薬学部）
12	6月11日	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介（長崎国際大学健康管理学部）
13	6月18日	在宅医療におけるヘルスカウンセリング	本 康剛（佐世保中央病院）
14	6月18日	長崎県民フォーラム	永木 照彦（おおさと整形外科）
15			和田 さゆり（長崎労災病院） 石丸 のぞ美（佐世保中央病院）

参加者

履修生	長崎国際大学	薬学部	薬学科	124名
		健康管理学部	健康栄養学科	21名
		人間社会学部	社会福祉学科	5名
		人間社会学部	国際観光学科	7名
合 計				157名

〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・高齢化がますます進んでいく中、在宅医療は必要不可欠だと思った。スムーズに連携できるように更に理解を深めていきたい。
- ・在宅医療に関わる多くの専門職と専門職連携の重要性について理解を深めるいい機会となった。
- ・在宅医療に関わるそれぞれの職種の役割を知ることができた。
- ・講義をしながら分かりやすい（理解しやすい）ように実際の例をあげてくださったので、わかりやすかったです。私たちの身にふりかかっている問題について目をそむけられないと感じました。問題意識を持って良かったです。



「多職種連携早期体験学習」 コーディネート科目

目的

本学習は地域包括支援センターと訪問看護ステーション・薬局での体験を通して、自身の将来の職務の対象となる人々（年齢や健康の程度、療養・生活の場所に関係なく）の保健・医療・福祉を取り巻く環境を知り、その人の必要とするニーズに適切に対応するための意識（人権感覚・倫理観・責任感・意欲）やケアマネジメントの具体的方法、チームアプローチの必要性を実践から理解する。

科目

開講期間：平成28年8月17日（水）～平成28年8月19日（金）

1泊3日の宿泊型

開講場所：長崎大学薬学部、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、薬局

単 位：1単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生



日程

【1日目：8月17日（水）】

場所：長崎大学薬学部、長崎市および長与町内地域包括支援センター、長崎カトリックセンター

時間	研修（活動）内容
10:00	開会あいさつ
10:05	オリエンテーション
10:30	レクチャー
11:00～	昼食および 実習施設へ移動
13:00～	各施設での体験学習
17:00	集合
18:00	宿泊施設オリエンテーション・夕食
19:00	入浴、自由時間
21:00	グループワーク
22:30	就寝準備・消灯

【2日目：8月18日（木）】

場所：訪問看護ステーションおよび薬局、長崎カトリックセンター

時間	研修（活動）内容
6:00	起床
6:30	朝食、清掃
8:00～	実習施設へ移動
9:00～17:00	訪問看護ステーションまたは薬局において実習
17:00～	解散

【3日目：8月19日（金）】

場所：長崎国際大学薬学部

時間	内容
9:00～9:30	学生集合
9:30	グループワーク
12:00	昼食
13:00	発表準備
14:00	学習報告会
15:30	まとめ
16:30	解散

参加者		
長崎大学	医学部 医学科	2名
	医学部 保健学科 看護学専攻	1名
	薬学部 薬学科	1名
長崎県立大学	看護栄養学部 看護学科	5名
	看護栄養学部 栄養健康学科	2名
長崎国際大学	薬学部 薬学科	4名
	健康管理学部 健康栄養学科	2名
合 計		17名

〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・ 実際に見学させて頂いたことで、在宅療養支援、多職種連携はとても大変なことだけれど同時にとても大切なことであるとよくわかりました。（医学科・1年）
- ・ 自分でイメージしていた在宅・訪問看護を実際に見学して、まだまだ勉強して基礎力・実践力を身に付けていかないといけないかと改めて感じました。参加できてよかったと思います。（看護科・2年）
- ・ 在宅医療の講義をうけたうえで参加となったが座学では学ぶことのできない経験、学んだからこそできたことも多く、在宅療養支援における多職種連携の重要性を実感できてよかった。（薬学科・1年）



「在宅がん医療・緩和ケア実習」 コーディネート科目

目的

本実習は、医療・保健・福祉等の学科を専攻している学生が、自己の目指す専門性を伸ばすとともに、がん患者に対する病院から在宅へ切れ目のない療養支援や在宅緩和ケアにおけるチームアプローチについて学ぶことを目的とする。そのため、長崎大学病院や在宅療養支援（歯科）診療所などでの実習を行う。また、他大学の他学科生とのグループによる共同作業を通して、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性・協調性を修得することがねらいである。

科目

開講期間：平成28年8月24日（水）～平成28年8月26日（金）
 開講場所：長崎大学病院、在宅療養支援（歯科）診療所、長崎大学薬学部
 単 位：1単位（教養科目）
 対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、
 医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している高学年次（原則）の学生



日程

【1日目：8月24日（水）】

場所：長崎大学病院

時間	研修（活動）内容
8:45	学生集合
9:00	開会あいさつ
9:05	オリエンテーション1
10:00	セミナー（長崎大学病院 医師）
11:30	オリエンテーション2
11:50	昼食
12:50	集合
13:00～16:00	診療科、診療部門での実習
16:00～	意見交換

【2日目：8月25日（木）】

場所：（長崎大学5階研修室に集合）在宅療養支援診療所・在宅療養支援歯科診療所

時間	内容
8:00～10:00	集合、実習施設へ移動
(実習施設移動後)～17:00	在宅療養支援診療所等で実習
	終了後、随時解散

【3日目：8月26日（金）】

場所：長崎大学薬学部 5階研修室

時間	内容
9:45	学生集合
10:00	グループワーク
12:00	昼食
13:00	発表準備
14:00	学習報告会
15:00	まとめ
15:30～	閉会の挨拶、写真撮影、解散

参加者		
長崎大学	医学部 医学科	1名
	薬学部 薬学科	4名
長崎県立大学	看護栄養学部 看護学科	7名
	看護栄養学部 栄養健康学科	3名
長崎国際大学	健康管理学部 健康栄養学科	2名
合 計		17名

〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・在宅医療ではがん以外にも様々な科をみるため、総合的な知識が必要であり、人間性も大きく求められることがわかりました。“緩和ケア”というものはがん末期に対しての者だけではないということがとても印象に残りました。（薬学科・5年）
- ・多職種協働のためには早い段階で自分が学んでいることの専門性と職種による視点のちがいに気づくことが必要だと感じました。自分たちの常識が当たり前ではないと気づくことはとても楽しいです。（看護科・3年）
- ・学校の授業では深く学ぶことができなかった多職種協働、在宅がん医療、緩和ケアについて学ぶよい機会になりました。病院などでの実習も目新しいことが多く非常に良い刺激になりました。（健康栄養学科・3年）



「在宅がん医療・緩和ケア特論」 **コーディネート科目**

概要

- ・在宅緩和ケアを必要とするがん患者および家族の、ケアの目標を多職種からなるチームで構築する。
- ・模擬事例を用いた在宅療養の実際から、患者、家族の目標、達成に向けた課題と支援内容（各専門職の役割）を具体的に検討し、「担当者による模擬カンファレンス」として発表する。

科目

開講期間：平成28年5月21日（土）・平成28年6月4日（土）

開講場所：長崎県立大学シーボルト校地域・老年看護実習室

単 位：1単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、
医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している3年次以上の学生

参加者：6名



〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・模擬退院前カンファレンスを見て、多職種がどんなことかを話し合っ退院後の対象者に対するケアの方向性を固めていくのかを学んだ。（看護学科）
- ・他学部生と交流することで、他職種の業務内容、どのようなことに注目してケアを行うのかなどを学ぶことができた。（薬学科）
- ・他学部生から栄養について相談を受けることで、栄養面では管理栄養士が特化した存在と知りました。説明や質問にうまく答えられず悔しかったので、もっと知識を得て患者さんと家族に喜んでもらえるケアをしたいと思った。（栄養健康学科）



「地域包括ケア特論」 **コーディネート科目**

概要

- ・日常生活において何らかの支援を必要とする利用者（患者）および家族の、支援計画を多職種からなるチームで検討する。
- ・模擬事例を用い、利用者（患者）及び家族の目標の達成に向けた課題と支援内容を具体的に検討し発表する。

科目

開講期間：平成28年10月1日（土）・平成28年10月15日（土）

開講場所：長崎国際大学6103教室

単 位：1単位（教養科目）

対 象：「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・
介護等の学科を専攻している1年次以上の学生

参加者：13名



〈受講生の感想〉（一部抜粋・編集）

- ・地域包括ケアの根底には高齢者が住み慣れた地域でこれまで行ってきた生活を尊重し、介入後もその地域で暮らしていけるようにするという考え方があるということを理解できた。
- ・多職種連携で支援計画を行うことで利用者にとって良い計画案が作成されるのだと感じた。
- ・他学部の学生が実習先で見た高齢者向けの便利なグッズや介護を行う時に使用する日用品など、「そのような物もあるのだ。」と自分が知らなかった情報を得ることができた。

